

NDC10 版改訂箇所一覽

大曲 俊雄 編

日本図書館協会分類委員会 監修

2016年3月

日本図書館協会分類委員会

〈凡 例〉

この資料は、日本十進分類法（NDC）新訂 10 版（以下、10 版）において、同新訂 9 版（以下、9 版）の分類項目等に対する改訂が行われた箇所を一覧表にしたものである。

1 対象および配列

- 1) 10 版の細目表を基本として、9 版の細目表との対比を行い、改訂が加えられている箇所を類ごとに抽出し、分類記号順に配列して分類項目名、改訂箇所および改訂内容を記載する。
- 2) 10 版は第 3 刷（第 2 刷までの修正を反映）を対象とし、9 版は最終の修正が反映された第 12 刷を対象とする。「9 版補遺」（2000 年 4 月）に収録された事項も対象とする。

2 構成要素

分類記号、分類項目名、改訂箇所および改訂内容の 4 つの欄からなる。

1) 分類記号

- ・ 10 版の分類記号（二者択一項目、削除項目、中間見出し等を含む）を記載する。
- ・ 二者択一項目は分類記号を [] で囲み、新設の二者択一項目の場合などに限り、参照（→）の分類記号を示す。
- ・ 削除項目は分類記号を（ ）で囲み、参照（→）があるときは、参照先の分類記号を示す。
- ・ 中間見出しは分類記号を 〈 〉 で囲んで示す。

2) 分類項目名

- ・ 10 版の分類項目名を記載する。
- ・ 分類項目名が数行にわたるときは、適宜「…」を付して省略する。分類項目名に続けて記載される年、世紀等は省略する。また、分類小項目名は原則として「:…」のように省略する。
- ・ 不使用項目の新設等によって、分類項目名が存在しない場合は空欄とする。

3) 改訂箇所

- ・ 改訂が行われた分類項目の構成要素を示す。
- ・ 「分類項目」「分類記号」「分類項目名」「分類小項目名」「関連項目名」「英文項目名」¹、「注記」「注参照」「参照」「中間見出し」等の名辞を使用する。

4) 改訂内容

- ・ 改訂された内容を記載する。ただし、改訂内容全体を記載するのではなく、改訂された箇所を特定するための記述に留める。
- ・ 10版で新設された分類項目は、「新設」と記載する。
- ・ 分類項目の新たな構成要素（分類項目名、注記、参照等）が追加されたときは“「○○」を新設”，すでにある同一の構成要素が追加されたときは“「△△」を追加”のように記載する。途中あるいは末尾の文言は、適宜「…」を使用して省略する。ただし、引用した9版の文言は、原則として省略しないで記載する。
- ・ 分類項目の既存の構成要素が変更されたときは、変更された部分について、“「 」を変更”，“「 」を「 」に変更”のように記載する。削除、追加等の場合も同様とする。
- ・ 改訂箇所の構成要素が異なるときは、原則としてその区切りを▲で示す。

3 その他

- ・ 9版の削除項目（10版では削除）は除外する。
- ・ 正誤表で公表されていない9版の誤記訂正についても記載する。
- ・ 外来語の分かち書きの改訂箇所は原則として記載しない（例「レファレンスブック」→「レファレンスブック」）。ただし、片仮名表記における中黒（・）の改訂箇所は記載する（例「ラテン・アメリカ」→「ラテンアメリカ」）。
- ・ 他の分類項目に同様の改訂があるとき、「(以下同じ)」と記載して省略した箇所がある（例 神道「Shintô」を「Shinto」に変更（以下同じ））。
- ・ 末尾に付録として「10版新設・削除項目件数等一覧」²を収録する。

¹ 分類項目名が地名、動・植物名、言語名である場合に付記されている欧文形は「英文項目名」、分類項目名が人名である場合に付記されている欧文形は「分類項目名」と表記する。

² 大曲俊雄「NDC10版の変わったところ」『専門図書館』No.272. 2015. p.36.

以上